

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

野川商事グループ

天童市にある野川商事株式会社の櫻井佳織さん取材しました！
櫻井さんは山形大学工学部を卒業した後、2017年に入社しました。
現在は総務電算課で勤務しています。

(1) 仕事内容編

——現在の仕事内容について教えてください。

私は総務電算課に所属しています。メインの仕事は、野川商事グループの仕事効率化のためのシステム開発をしていて、エクセルやアクセスというソフトを使います。他にも総務の仕事として、備品管理やパソコン、プリンターなどの不具合対応も行います。

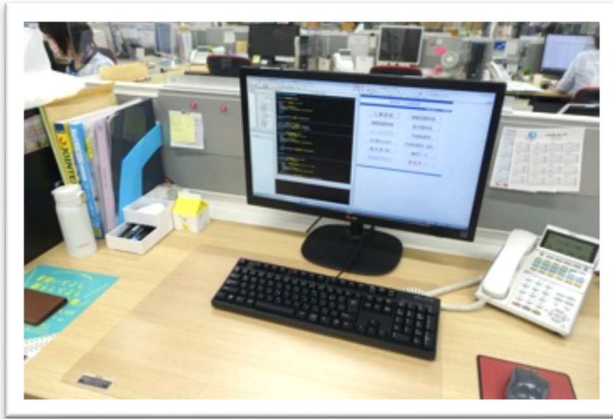


——具体的にはどのようなシステムを開発しているのですか？

最近作成したのは、グループ会社の野川ファームで使う、お米の搬入に関するデータを一括管理するシステムです。情報を集約して、どの部署の誰が担当しているかなどを一括で管理できるしくみを作りました。

グループ会社で使うシステムは総務電算課にいったん相談が来るので、そこでシステムを作ることもありますし、外部のものを導入することもあります。

——山形大学工学部出身とのことで、大学で学んだことが活かしている部分はありますか？



工学部の研究室では、実験をしたりテーマを考えたりするときに先生と話ることが多いと思いますが、そこで上司に相談をしに行くタイミングのつかみ方を学んだと思います。あとは、わからないことがあるときに、誰に何を聞けば良いのかという探し方がうまくいった気がします。

——入社後の研修ではどのようなことをするのですか？

最初の2日間は就業規則に関する研修があり、同期と一緒に受講します。同期と一緒にするのはそこまで、その後は配属先のグループ会社に分かれていきます。研修制度はきちんとしていて、入社前に泊まりがけでいく研修や、自衛隊での研修もあります。

——自衛隊での研修というのが気になりますね！

自衛隊に行って、泊まり込みでやります。自衛隊の服装を着用して、団体行動の練習をします。「敬礼の角度が甘い！」とか言われたり（笑）。ちょっと過激な運動もあって、例えば「ちょっと穴に落ちてみて」と言われ、落ちたら「這い上がってみて」と指示されます（笑）。障害物競走もやりましたね。

研修っぽくない研修でしたが、同期とはよく話す機会になったと思います。今もグループ会社に電話をして同期が出ると、「あ～！どうもどうも！」となったりして、繋がりを感じます。

——システム開発についてはどのように勉強してきたのですか？

入社当時、人事異動による担当業務の再編で社内がバタバタしていたこともあり、主に自習して学びました。エクセルの自動化の方法や、会社で使っているソフトの使い方など、基本的なところを自分でたたき込みました。

——すごいですね！

周りの皆が忙しくしているのに、自分が暇だと「申し訳ないな、早く戦力にならなきゃ、役に立てるようにならなきゃ」というのをすごく感じたので、頑張りました。

ある程度自分でできるようになるまで1年くらいかかりました。それからは、依頼によって必要になるスキルが違いますので、どんどんアップデートしてきた感じです。

——業務をするにあたって、モチベーションはどこにありますか？

要求されることは一定ではないので、失敗は常にあります。要望に応えられるようにしっかり打ち合わせをして、自分が開発したもので業務改善ができた、お客様への対応がより早くなったりするのは、会社にとってもお客様にとってもプラスになりますし、「作ってよかったなあ」と思います。「これがほしかったんだよ」言ってもらえたときは嬉しいですね。



——作ったものを喜んでもらえるのがやりがいになっているのですね！

使ってもらったときに、「これがあれば、今までの無駄がなくなるね！」と言われるのがありがたいです。「そんなこと言われたらますます頑張っちゃう！」となります（笑）。またこの人のために頑張ろうとも思います。

特に私にとってのお客様はグループ会社の社員さんで、すぐに会える人たちなので余計にそう思うのかもしれませんが。

——逆に、大変だと思うことはありますか？

グループ会社の中で休日が共通というわけではないので、システム担当としては大変かもしれません。システムが動かなくなったときや、システムの入れ替えをするときには、以前は休日であっても出勤しなければならないことがありました。ですが、今は効率化が進んで休日の呼び出しは全然なくなって、休日の計画が立てられるようになったので良かったですね！

(2) 職場編

——野川商事に入社を決めたきっかけは何ですか？

自分の地元にあったというのが一番です。天童市から出たくなくて（笑）。天童市から近いところで、募集がないかと探していました。

実は就活を始めるのが遅くて、4年生の夏になってから探していたときに、ちょうど行き当たりました。もうギリギリの時期に採用していただいた感じですね（笑）



——本当にご縁があって入社されたのですね。入社して感じている野川商事の魅力を教えてください。

社内の雰囲気が良いことです。雑談もできないようなピリピリした感じはなく、いろいろなことが聞きやすい環境です。忙しいときも、声をかければ皆さんが応えてくださるので、良い人ばかりだと感じています。

——入社前の面接の段階でも、そういった雰囲気は感じていましたか？

面接では、緊張でそれどころではなかったのですが（笑）。社長の話し方がおっとりしていたことと、「一流であれ」と言われたことだけを覚えています。ですが、話を聞いてくれるという印象はありました。

——会社の仕組みとして、コミュニケーションがとりやすくなるような工夫があるのですか？



業務の担当が変わると、席替えがあります。近い業務をしている人が向かいや隣になって、すぐに書類を渡せたりだとか、ちょっとした相談ができるという席の並びにしてくれます。

ちなみに今は、一番相談をする直属の上司が隣の席にいて、反対側の隣には管理部の相談しやすい方がいます。

——相談すべき人が隣に来るような配置になっているのですね。

そうですね。例えば、電話が来て、それを切ったらすぐに「これやっておいて」と書類が回ってくる感じです。お互いに仕事をしやすい環境が整っていて、ありがたいですね。こんなに頻繁に席替えをするところはなかなかないと思います。新入社員が入ってきたときも、「教えやすいように、席替えしておこう」ということがあります。

——野川商事グループでは食品も扱っているそうですが、自社の製品で好きなものやおすすめしたいものがありましたら教えてください。

たくさんあります（笑）。

「週末びっくり市」には豚肉の味噌漬けがあって、これが焼くだけでめちゃくちゃ美味しいです！お魚だと鮭の西京焼きが美味しくて、他のスーパーと同じ値段でも大きいものが買えます。

あとは「ガリスパ」というオリジナル商品です。ガーリック・醤油・塩などが入った調味料で、これをお肉にかけて焼くだけで美味しくなるので、ぜひ使ってみてほしいです。

「野川ファーム」だと、季節の果物がほぼ全部そろっています。8月末だとモモ、もう少しするとブドウ、その後はリンゴですね。特にリンゴがお気に入りです。10kg箱を毎年リピートしています。

——社員割引はあるんですか？

実はあります！びっくり市は適用外ですが、野川ファームの美味しいお米がちょっと安く買えたりします。



——福利厚生として良いですね！

福利厚生は結構きちんとしていると思います。例えば、グループ会社の「天童給食センター」のお弁当をお昼に注文すると、100円引きです。300円もしない値段でおかずがたくさん入ったお弁当を食べられます。ありがたいです。

グループ会社の一覧をみるとわかりますが、生活のインフラがすべてグループ内でそろっています。お風呂、トイレ、ガス設備、そしてお葬式まで大丈夫です（笑）。何か相談するならグループ内でしたいなと思います。

(3) ある日の過ごし方編

●8:30【出社】

事務所内のスタッフ全員でラジオ体操をします。
全体で朝礼をします。朝礼当番はみんなの前で所感を
発表します。



●8:45【システム開発 設計】

打合せた内容からどのような仕組みを作るか検討します。
画面を見たまましばらく動かなくなります（サボってはいません…）。

●10:00【システム開発 問合せ】

打合せ後に出た疑問をまとめて質問します。
よりユーザーの希望に沿ったシステムになるよう細かい部分を調整します。

●12:00【お昼休憩】

天童給食センターのお弁当喫食！

●13:00【システム開発 設計】

午前中の仕事の続きです。



●14：00【緊急対応】

グループ会社（東根市）の PC がうまく動かないと連絡があり、対応するため緊急出動します。出先で少しだけ雑談し、他に困りごとはないか話しながら作業します。すると、プリンターの印字がずれているのが気になるとのことで、追加の作業です。



●16：30【帰社・対応事項まとめ】

PC のメンテ後、帰社します。

原因が特定できたため、他にも同じ使用環境の PC がないか念のため確認します。同現象が起こったとき情報を共有できるよう要項をまとめます。

●17：20【トラブル対応】

大事な顧客ファイルを誤って削除してしまったと復旧依頼がありました。

バックアップがあったので復旧し、ついでにバックアップサーバーの容量を確認します。容量がないとバックアップが保存できなくなるためです。

●17：45【退社】

定時を過ぎてしまったので急いで退社します。

天童のびっくり市に寄り道して買い物を済ませます。

(4) むらやまでの暮らし編

——就職時に天童市に近いことを優先したと伺いました。天童市に魅力を感じているところを教えてください。

天童市は生まれ育ったまちで、20年以上、天童市にいたのでそれが当たり前になっているという部分が大きいです。自分がよく知っているまちだから、という部分もありますし、お祭りにもぎやかだし、いい人が多いとも思いますね。



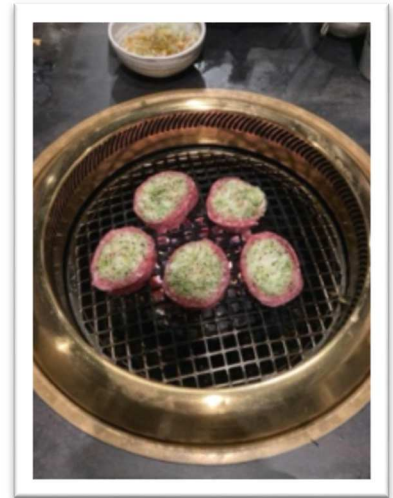
——天童の人から支えられていると感じる瞬間はありますか？

会社に入ってからを感じる事が多いです。お客様には天童市の方が多くて、取引先にも多いのですが、電話をしていると本当に良い方に出会っていると感じます。厳しい条件の中でも「頑張ってみましょう」と言ってくださる方も多くて、働くようになって初めてわかった天童の良いところです。

——大学生のときは米沢に一人暮らしだったそうですが、戻ってきてよかったことはありますか？

米沢で一人暮らしだったときは、部屋に友人をたくさん招けるのがいいところでしたね。毎週のように酒盛りをしていました（笑）。

今いる天童には見知った店があって、いつも行っている場所があります（写真は焼肉処豊）。それに水害も地震も少なく、山崩れの心配も少ないので安心ですし、天童にいと落ち着きますね。



——山形は雪が多かったり、公共交通機関が不便であったりすると思います。不便さとの付き合い方はどう工夫されていますか？

電車は一時間に一本とか、本数が少ないですよ。ただ、そこは慣れが大事で、学生時代はむしろ自分が時間を合わせて行動していました。周回バスも利用していました。

天童から離れる気もないので、雪は毎年のことだからしょうがないと思っています。大雪の日は「はいはい、今日は雪が多いのね」と受け入れて、やり過ごします。

それに冬のダイエットになります（笑）。冬は意外と動かないので、雪かきが良い運動になっていますね。

(5) まとめ編

——社会人になって、学生時代と変わったと思うことはありますか？

今思えば、学生という身分は気楽でした。例えば、学生時代は体調を崩しても自分だけが影響を受けますが、社会人だと会社に迷惑をかけてしまうので、仕事だけでなくプライベートでも責任をもって動く感覚は強くなりましたね。何かあったら自分だけが損するわけではなく、迷惑をかけてしまうかもしれないという意味で、周りへの配慮ができるようになりました。



——周りへの配慮とは具体的にどういうものですか？

例えば、私が常に当たり前に出社すれば、どうしても私以外の人がやむを得ない事情で休んだり、急に穴があいたりしたとしても、「私に任せてください！」とフォローに回れます。お子さんに熱が出た社員がいたときに、「お子さんについてあげてください！こちらは大丈夫です！」と言えるような、そういうかっこよさを目指しています（笑）。

——これからの目標は何ですか？

今はいろいろな仕事での自動化が注目されていて、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)というパソコン作業を自動化するソフトがあります。RPAを使うと、今やっている作業が自動化されて、空いた時間に他の作業ができるようになります。この開発が会社の目標になっていて、私も開発にたずさわっていきたいと思っています。



——お仕事以外でも、将来の目標はありますか？

もっと余裕のある人になりたいとは思いますが、将来の姿はあまり意識していません。今が「楽しい！充実している！生きている！」という感じがしますので（笑）。

——就活生へのメッセージをお願いします。

大学での研究が活かせる仕事につく人は一握りだと思います。それよりも、入社してから「自分がそこで何をするか」が大事です。いざというときには転職という方法もありますし、まずは入社してみて、新しく勉強しようという気持ちで頑張るのが良いのかなと思います。社会に出ると、学生時代には想像もできなかったようないろいろなことがわかってきますし。

就活は人生の一大イベントだとは思いますが、あまり気負わず、そこで活躍できたならそのまま頑張る、難しいと思ったらもう1回就活するというくらいの「次がある」という考え方でいてほしいと思います。

——ありがとうございました！

オフィスがとても綺麗で、働く社員の方々のコミュニケーションからは、その雰囲気の良いさを肌で感じることができました。

グループ会社で生活のインフラを整えていて、消費者にとっては「地域オンリーワン」企業になっています。その安定した事業の背景には、櫻井さんの仕事内容からもわかるように「社内のつながりの強さ」が強みになっていると感じました。



【インタビュアー：

山形大学工学部 佐々木杏菜、
人文社会科学部 阿部真夕、今井日南】

野川商事グループ

★地域に根差したグループ企業です！

「野川商事グループ」は、食糧からエネルギーまで地域繁栄のパイプ役として、地域のお客様から必要とされる会社づくり、愛される会社づくりを目指しております。地域密着、お客様のニーズに応える総合商社です。生活に必要なあらゆる物を商品として取扱い、その多様な業種に特化したプロフェッショナルが、業種ごとにお客様への技術提案、経営提案、情報提供、そして新商品の提案を行っています。

★野川商事：2022年健康経営優良法人認定（中小企業法人部門）

- ・所在地 山形県天童市万代1番2号
- ・設立 昭和37年7月
- ・従業員数 715名（男性350名、女性365名）
- ・事業内容 セメント卸売、保険、小売店舗「週末びっくり市」の経営、給食事業、農業事業、食料品、冠婚葬祭、乾麺の製造販売、LPガス、燃料油、設備工事など
- ・URL <https://www.ngw.co.jp/>

